

浄化槽法等の改正で役割が終了したことから条例廃止。

●陳情第1号

○2011年度年金引き下げ撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める陳情

■審査の結果

「賛成多数で可決すべきものと決定」

全日本年金組合新潟県本部南魚沼支部から意見書を国に提出することを求める陳情。

議会で以外に行われた委員会報告

平成23年2月18日

1 文化振興の取組みについて

第15回越後湯沢全国童画展は3月5日から14日まで湯沢町公民館ホールで開催。応募総数195点、応募者163人、応募作品数が昨年より30点減少した。第15回を記念して、100点を超える川上四郎作品(原画、複製画)、歴代の大賞作品、町内にある川上四郎作品等の特別展示が行われる。

童画の拠点施設建設問題

は12月議会以降動きがなく進展していない。町長がいろいろな人の意見を聞き決断することとなると思うとの説明があった。

委員からは童画美術館を駅東側に建設し地域の活性化を望む請願が議会で採択されたことを受け、2月上旬に地域では活性化を考える会を立ち上げ、検討を始めた。今後の町の対応についての質疑と最近、童画作品の人氣が出て売れる時代がやってきた。入賞作品が町の所蔵になることから、賞金額を減額したことが原因となり、高額の賞金が目立っているほかの展覧会に比べて応募者が魅力を感じなくなり、年々応募が減少しているという声が出てきているという意見が出された。

2 町税等の収入状況について

平成23年1月末現在、町税の収納状況は現年度分で77.9%、前年同期より0.2%減少している。滞納繰越分も6.9%と前年同期より2.8%減少し、町税全体で60.9%となり前年同期より0.7%下回っているが、これは町民税の納

期の関係から一部収納集計が2月にずれ込んだためであり、このことを勘案すると実質的には前年同期と同率になる。国保税では現年度分が67.7%と前年同期より0.6%落ち込んでいるが滞納分が22.1%となり前年同期より3%上昇し、国保税全体で57.3%となり前年同期と同率である。滞納処分は滞納者の生活状況を勘案し、差押さえにより生活困窮になることのないよう配慮しながら行い、1月末で162件と前年実績を上回っている。

経済不況が進行する中、スキー産業の低迷を受け、固定資産税の現年度分が若干落ち始めていることが心配されるので更なる徴収への取組みを強化したいという説明があった。

委員からは、いくつもの税を滞納している納税者からの収入金は、どの税に充当されるのか、納税者の要望は反映されるのか。町税の平成23年度当初予算計上額が減少しているが、今年度予算計上額の確保等について質疑がなされた。

3 リゾートマンションのこ

み処理問題について

湯沢町宅地開発及び中高層建築物指導要綱がマンションのこみ処理問題、上下水道の対応問題、管理上の問題等の整合性が取れなくなり始めているため、見直しを行い、第5章として管理について新たな章を追加し明確化を図り、マンションのゴミ収集を町長の決断で一般家庭と同様に平成23年度から町が行うこととしたという説明があった。委員からは指導要綱の改正内容をリゾートマンション利用者に浸透させる方法、

独居老人に対する福祉対策、

リゾートマンションのこみ処理計画の体制、経費、分別の徹底等について多くの質疑がなされた。

4 総合計画前期基本計画のパブリックコメントについて

総合計画前期基本計画については、1月30日から2月28日までの1か月で、パブリックコメントによる意見募集をしているが、現在1件もきていないという説明があった。

厚生福祉常任委員会報告

委員長 佐藤守正

開会中の委員会審査

平成23年3月9日

●議案第8号

○湯沢町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

■審査の結果 「全員賛成で可決すべき

ものと決定」

平成21年10月から平成23年3月までの間、暫定的に35万円から39万円に引き上げていた出産育児一時金の支給額について、平成23年度から恒久化することに伴い、湯沢町国民健康保険条例の一部を改正するもの。